

ありがとうございます。私は今日、フュージョンだけでなく、精密機械業界の歴史的なイベントに参加できることを嬉しく思います。

精密機械業界が、もはやこの不況経済のあおりを受けない聖域だなんていう幻想を抱いている人は一人もいないでしょう。私はフュージョンの一員として加わるに当たり、ひとつの目的以外にはありません。それはフュージョンを技術で世界No.1にすることです。これは夢ではありません。必ずコミットすることです。

そのために、私は今日皆様に3つのことを宣言します。

第一にフュージョンの国内全支店を回り、一人ひとりすべての従業員と対話をします。私たちがこれからどこを目指すのか、どうなりたいのか、常に情報を共有し、すべての従業員と密にコミュニケーションを取ります。

第二に研究開発への投資を増加させるためのイニシアティブをとります。技術で世界No.1になるには、イノベーションが必要だと思うからです。

そして最後にフュージョンに世界基準を持ち込みます。フュージョンは日本国内では勢いのある会社です。でも世界的には存在しないに等しい会社です。次の50年間会社を存続させるには、世界規模での存在感が不可欠です。皆様にはこれからグローバル・プレイヤーとして成長してくれることを期待します。

その第一歩として今後社内の公用語を英語にします。もう日本の会社であることを辞めて、真のグローバル企業を目指します。これから段階的に会議やドキュメントをどんどん英語に切り替えていきます。2年後には日本人同士の会議もすべて英語にし、ドキュメントもすべて英語に統一いたします。

そしてこのスピーチを締めくくる前に、一点だけ付け加えたいと思います。これから皆さんは今まで経験したこともない新しいことに挑戦することになるでしょう。新しいことを始めるのは誰でも不安です。私もそうでした。でも世の中大きなものが生き残る訳ではなく、小さなものが生き残る訳でもなく、変化できるものだけが生き残っていけるのです。失敗を恐れず、常に前を向いて、一歩、一歩一緒に歩いていきましょう。

私には確信があります。

今日のこの日が、フュージョンにとって『技術で世界No.1になる』その始まりの日だということ